

いつも・いつまでも、みんなで支える上下水道 ～ 水道事業・下水道事業 経営戦略の概要 ～

水道事業・下水道事業の現状と課題

= 現 状 =

水道・下水道ともに普及率が99%を超え、普及向上による増収が望めない中、人口減少や保有施設の老朽化が進行【事業構造の変化(未収益事業化)】

= 課 題 =

ヒト(職員・組織)
職員の技術(知識)継承
更なる業務の効率化

モノ(保有施設)
法定(標準)耐用年数を超過する
保有施設が今後更に増え
多額の更新費用が必要

カネ(収支構造)
現在の料金・使用料水準では
令和22(2040)年度には
水道・下水道ともに
年2億円程度の減収

経営上の戦略(10年後に向けて)

水道事業

累積資金を一定程度残しつつ
「取水—浄水—重要水道管路」の耐震化を更に進め
耐震化・老朽化対策と経営の両立を図る

下水道事業

累積資金を一定程度残しつつ
必要となる施設の改築・更新を着実に
効率的な老朽化対策と経営の両立を図る

基本理念・経営の基本方針の実現(目指す10年後の姿)

○● 基本理念 ●○

いつも・いつまでも、みんなで支える上下水道

○● 経営の基本方針 ●○

① サービス提供の持続

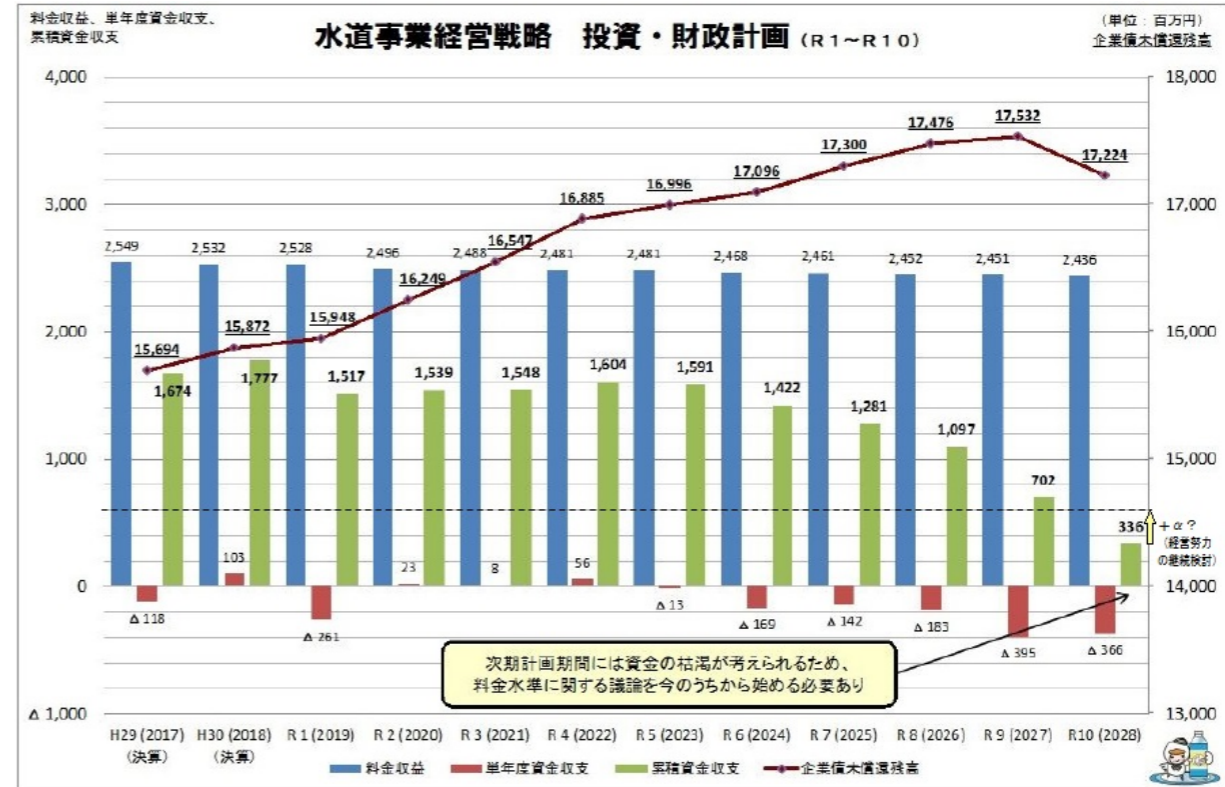
- 効率的な老朽化対策(建設改良工事の「選択と集中」)の実施
- 維持管理手法のたゆまぬ改善
- 組織としての技術(知識)力の確保
- 累積資金のある現計画期間内において、料金・使用料水準について議論

② 安全・安心の確保

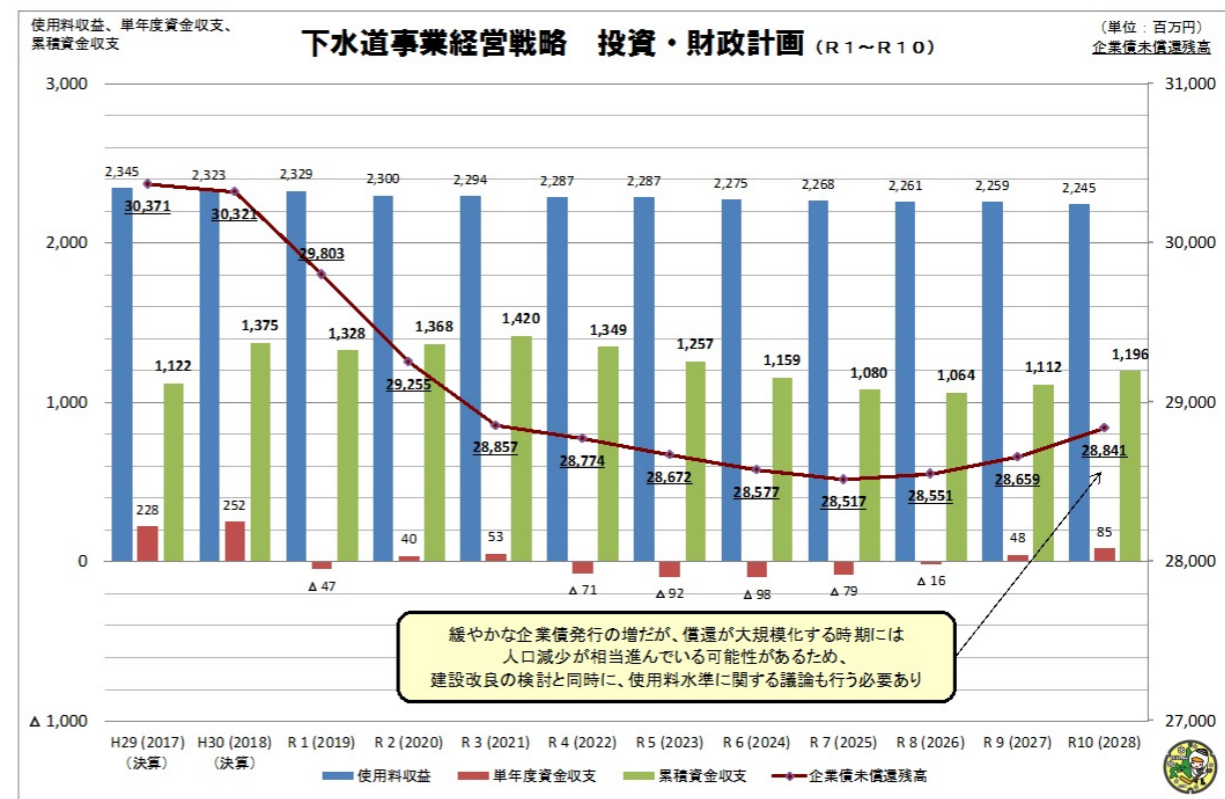
- 地震・災害に強い上下水道の実現
【水】「取水—浄水—重要水道管路」の耐震化の推進
【下】10年確率降雨の雨水管整備の継続
- 災害からの早期復旧が可能な、回復力の高い施設整備と組織体制の強化
- 【水】水質管理の徹底
- 【下】公共用水域の水質保全

「拡張・拡大」の時代から
「再構築・マネジメント」の時代へ

投資・財政計画(10年間の収支見通し)



- 【水道】進捗把握のための3つの管理指標(評価項目)
- ① 経常収支比率
100%以上を基本とします
 - ② 累積資金
料金収益
3か月分以上の維持を目指します
 - ③ 耐震化率
浄水場管轄施設の耐震化率
100%を実現し、重要水道管路の耐震化も進めます



- 【下水道】進捗把握のための3つの管理指標(評価項目)
- ① 経常収支比率
100%以上を基本とします
 - ② 累積資金
使用料収益
3か月分以上の維持を目指します
 - ③ 老朽化対策
ストックマネジメント計画対象施設の100%改築・更新を目指します

＝ (参考) 投資・財政計画の前提条件 ＝

【水道事業】

	収 益	費 用
収益的収支	【財源】 ① <u>料金収益（給水収益）</u> 水需要予測による各年度の有収水量に、過去 10 年の供給単価の最安値（157.58 円、H24(2012)実績）を乗じる ② <u>長期前受金戻入</u> 既存の施設に係る長期前受金戻入に、新たな投資に係る長期前受金戻入を上乗せ ③ <u>その他の収益的収入</u> 過去 3 年（H27-H29(2015-2017)）平均	【投資以外の経費】 ① <u>企業債支払利息</u> 元利均等・償還期間 25 年の借入とし、年利は 1.0%（R 元-R 5(2019-2023)）・1.5%（R 6-R10(2024-2028)）で推計 ② <u>減価償却費</u> 既存の施設に係る減価償却費に、新たな投資に係る減価償却費を上乗せ ③ <u>退職給付引当金</u> 市長部局との人事異動により勤続年数が一定に保たれるものとし、H26(2014)以降の取崩額平均値を毎年度計上 ④ <u>その他の収益的費用</u> 過去 3 年（H27-H29(2015-2017)）平均、ただし修繕費・委託料は毎年度 2%ずつ増で計上
	【財源】 ① <u>国道補助金</u> 老朽管更新で 1 億円/年程度（-R 2(2020)）、緊急貯水槽で 5,000 万円/年 程度（-R 5(2023)）を見込む ② <u>工事負担金</u> 柏原地区の一部の給水区域編入に伴い、総額 1.9 億円程度の負担金収益を見込む（R 3-R 5(2021-2023)） ③ <u>その他</u> 右欄（資本的支出）①に係る財源のうち上記以外のものについて、全て企業債	【投資】 ① <u>②以外の建設改良工事</u> 苫小牧市新水道ビジョン実施計画に掲載された事業費（年平均 13 億円） ※ R10(2028)は、9 億円に設定 ② <u>量水器施設費</u> 現在の量水器の布設状況を元に計上 ③ <u>企業債（償還元金）</u> 既存の企業債未償還元金の返済計画に、元利均等・償還期間 25 年で借り入れる企業債の償還元金を上乗せ
資本的収支		

【下水道事業】

	収 益	費 用
収益的収支	【財源】 ① <u>使用料収益</u> 水需要予測による各年度の有収水量に、H29(2017)使用料単価（149.33 円）を乗じる ② <u>雨水処理負担金</u> 収益的支出の各費目に対し、過去 3 年の予算編成（H28-H30(2016-2018)）で使用した雨水比率の平均値を乗じる ③ <u>長期前受金戻入</u> 既存の施設に係る長期前受金戻入に、新たな投資に係る長期前受金戻入を上乗せ ④ <u>その他の収益的収入</u> 過去 3 年（H27-H29(2015-2017)）平均	【投資以外の経費】 ① <u>企業債支払利息</u> 元利均等・据置 5 年・償還期間 25 年の借入とし、年利 1.0%（R 元-R 5(2019-2023)）・1.5%（R 6-R10(2024-2028)）で推計 ② <u>減価償却費</u> 既存の施設に係る減価償却費に、新たな投資に係る減価償却費を上乗せ ③ <u>退職給付引当金</u> 市長部局との人事異動により勤続年数が一定に保たれるものとし、H26(2014)以降の取崩額平均値を毎年度計上 ④ <u>その他の収益的費用</u> 過去 3 年（H27-H29(2015-2017)）平均、ただし修繕費・委託料は毎年度 2%ずつ増で計上
	【財源】 ① <u>国道補助金</u> R 元(2019)は予算額、R 2・R 3(2020・2021)は 5.4 億円/年を、R 4(2022)以降は 5 億円/年を見込む ② <u>他会計補助金</u> 特別措置債の発行状況に応じた額を計上 ③ <u>その他</u> R 6(2024)まで受益者負担金の調定を見込み、その他は全て企業債	【投資】 ① <u>R 3(2021)までの建設改良工事</u> R 元(2019)は予算額、R 2・R 3(2020・2021)は 18.7 億円/年程度を見込む ② <u>R 4(2022)以降の建設改良工事</u> 24 億円/年を見込み、その内訳を管渠 15 億円・処理施設等 7 億円・その他 2 億円（建物又は管渠）とする ③ <u>企業債（償還元金）</u> 既存の企業債未償還元金の返済計画に、元利均等・据置 5 年・償還期間 25 年で借り入れる企業債の償還元金を上乗せ
資本的収支		